どじょっこ

荒南だより 第8号

平成 30年3月発行
荒川南部土地改良区
那須烏山市東原68-5
☎ 0287-88-7599

3月26日（月）於：砂防会館

第１８回通常総会を開催

３月２８日(水)　於 市農業会館（詳細はＰ２）

来賓代表として祝辞を述べる川俣市長

二十一世紀土地改良区 創造大賞受賞

３月２６日(月)

於 砂防会館（詳細はＰ３）

佐藤雄次郎元事務局長（平成28年8月末退職）には、平成29年3月22日に開催された栃木県土地改良事業団体連合会の総会の場で、同会長から土地改良事業の功労者として表彰を受けられました。

同氏は、事務局長として、当土地改良区の事業計画から施工、換地処分までを円滑に行えるよう努めるとともに、効果的な制度の活用を検討するなど、当土地改良事業の推進に貢献されました。

…… 目　次 ……

1　表紙 …総会、表彰
2　総会 …総会、新役員の紹介、理事長あいさつ
3　表彰 …二十一世紀土地改良区創造運動表彰
　　中央選考委員会(ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ)、表彰式
4　維持補修 …維持補修事業(5･6号機樋門設置)
　保全会 ……高瀬、大里
5　保全会 ……小塙、森田、猿久保田んぼ公園
6　保全会 ……生き物調査、ホタル観察会
7　農都交流 …豊島区民との交流事業
8　お知らせ …賦課金、鳥獣被害防止

第１８回通常総会を開催

去る３月28日(水)、市農業会館において、荒川南部土地改良区第18回通常総会を開催しました。

久郷理事長から「引き続き皆さんのご協力をお願いします。」というあいさつの後、川俣市長から「改良区の取組が評価され大賞受賞となった。引き続き都市農村交流事業にご協力をいただきたい。益々のご繁栄を祈念します。」という祝辞をいただきました。

議事を進める阿久津議長

総会では、平成28年度事業報告や収支決算報告、平成30年事業計画や収支予算案などが上程され承認・可決されました。

平成30年度の事業として、①農用地及び用排水施設等の維持管理、②担い手との連携、③生態系保全、④都市農村交流事業、⑤多面的機能支払交付金事務受託、⑥荒南だより「どじょっこ」の発行、⑦ホームページの開設などに取り組むこととなりましたので、引き続き皆様のご協力をお願いします。（詳細は総会資料をご覧ください。）

新役員の紹介

（敬称略）

職　　名	氏　　名	地 区
理事長	久郷　浩	大 里
副理事長	鈴木　秀之	高 瀬
会計理事	中田　義昭	森 田
理　　事	藤田　善実	高 瀬
〃	青木　昇	高 瀬
〃	古家　信夫	大 里
〃	檜山　徳夫	大 里
〃	斉藤　浩二	小 塙
〃	久郷　道泰	小 塙
〃	斉藤　正好	小 塙
〃	増子　謙一	森 田
〃	伊澤　和一	森 田
監　　事	久郷　益夫	高 瀬
〃	山田　清	森 田

平成29年3月の定款変更により、理事が16名から12名となりました。なお、役員の任期は、平成29年11月1日から平成33年10月31日です。

理事長あいさつ

昨年の役員改選において、理事に再任され理事長を務めさせていただくことになりましたので、よろしくお願いいたします。

当土地改良区では、本来の役割である土地改良施設の維持管理に加え、農地利用集積の推進、農村が有する多面的機能の発揮に向けた各種事業にも取り組んできたところ、３月26日（月）には、設立当初からの活動が評価され、二十一世紀土地改良区創造運動大賞を受賞することができました。

これは、役員をはじめ会員の皆様のご理解とご協力の賜物ではないかと考えております。これからも当土地改良区の発展のため最善を尽くして参りたいと考えておりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

★　二十一世紀土地改良区創造大賞 受賞　★

3月26日（月）於：砂防会館

当土地改良区では平成19年度に二十一世紀土地改良区創造運動『さなえ賞』を受賞しておりましたが、今年度は最高賞の『大賞』を受賞しました。

今年度は全国で３改良区が大賞を受賞しましたが、栃木県下では平成15年度の「那須野が原土地改良区」以来14年ぶり２回目の受賞です。

この受賞は、設立当初から役員をはじめ組合員の皆様のご理解とご協力をいただいて、地域を挙げて活動してきたことが評価されたものです。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

二十一世紀土地改良区創造運動とは？

この運動は平成１３年に始まったもので、①土地改良施設の管理という従来の役割に加え、②地域住民の参加・協力を得ながら、農業・農村の環境保全や多面的機能の発揮を図るという新たな役割を担うために展開されています。

当土地改良区では、土地改良事業開始当初から、この趣旨を念頭に活動を行ってきました。

表彰の経緯

①　昨年８月、大賞申請調書を作成し、全国土地改良事業団体連合会へ提出

②　12月９日、一次審査を通過し二十一世紀創造運動表彰中央選考委員会でプレゼンテーション

プレゼンテーションの状況

農業関係の大学教授、農業ジャーナリスト、報道関係者などの選考委員１０名の前でプレゼンテーションを行いました。①都市農村交流事業と水土里ネット、②多面的機能支払交付金を活用した活動について、久郷理事長を含め３名で説明しました。

二十一世紀創造運動表彰中央選考委員会

説明する久郷理事長

久郷理事長が「都会の人にいなかのいいとこを知ってもらうべ」と栃木弁で話したところ、選考委員から笑みがこぼれて緊張がほぐれ、スムーズな説明ができました。

選考委員から、いろいろな質問があり持ち時間を大幅に超過しましたが、今までの活動状況などを資料（写真）を配って説明しました。

ー平成29年度の維持補修ー

＊　平成29年度の修繕・補修工事　＊

① 取水口樋門設置工事･･･　5･6号(大里)

② 浚渫工事（砂取り）･･･　5･6号(大里)

③ 災害復旧（用排水路陥没）･･･大里地内

※　各工事とも市の補助事業

② 浚渫工事

大型コンプレッサーを使った浚渫（しゅんせつ）作業

災害復旧工事

当土地改良区は稲作中心で用水の確保が最も重要な課題です。ほとんどの揚水機場が集水管方式を採っているため砂との戦いです。

農業用施設も約15年が経過したことから、今後施設の長寿命化を図るため、定期的な点検と計画的な修繕等を実施する予定です。なお、修繕等修繕等に当たっては、緊急性のあるものや優先度の高いものから順次実施する予定です。

① 樋門設置工事

土地改良区施設の維持管理予算には限りがありますので、各地区の保全会が多面的支払交付金を活用して施設等の簡単な補修を行っています。

各自治会を中心とした保全会活動

･･森田地区･･

森田地区では、地域の皆さんの協力を得て、農道や揚水機場の草刈りのほか、堀さらいや樋門の塗装など用排水設備の維持管理作業を行いました。今後も景観の保全や農業用施設の維持管理を行っていきますので、皆さんのご協力をお願いします。

樋門の塗装作業

堀さらい

・・小塙地区・・

小塙地区では、水路の泥上げや農道の草刈りなどの農業施設の維持管理に取り組んでいます。特に増水で崩落した土側溝の補修は大掛かりな工事となりましたが、しっかりした補修ができました。今後もより良い環境づくりを目指していきますので、皆さんのご協力をお願いします。

崩落した土側溝の補修作業

農道の草刈り

堀さらい

・・大里地区・・

彼岸花定植地の草刈

大里地区では、水路の泥上げ、農道・保全地区の草刈りなどに取り組んでいます。用水確保のため取水口周囲の整備を毎年行っています。また、彼岸花などの保全に努めています。引き続き、農道の補修整備、揚水機場や用排水設備等の維持管理作業を行っていきますので、皆さんのご協力をお願いします。

農道の草刈り

5・6号揚水機場　取水口周囲の整備

・・高瀬地区・・

毎年打ち合わせ会議を開催し、優先度をつけて効果的な保全作業を行っています。皆さんのご協力でため池や揚水機場維持管理のほか、農道の補修や草刈りなどに取り組んでいます。今後も農道の補修整備などに取り組んでいきますので、皆さんのご協力をお願いします。

打合せ会議

宮脇溜池堤の草刈り作業

男滝周辺の保全作業

土地改良区では、荒川南部地域保全会の事務受託をしています。

生き物調査を開催

平成29年6月18日(日) 9:00～

土水路の生き物調査

昨年の６月19日（日）午前９時から、第10回「生き物調査」を猿久保田んぼ公園周辺において開催しました。市外からの参加者も含め００名の参加が有りあり、ビショビショや泥んこになりながら、ドジョウ、沢ガニ、コオイムシ、アカハライモリ、タガメの卵などの生き物を捕獲し、観察しました。

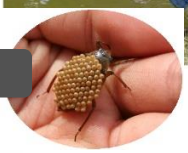
小塙公民館に移動して、参加者が協力して「生き物マップ」を作成し、みんなでお弁当を食べました。

何が捕れたかな？

生き物マップを作成

ひょうたん池

タガメの卵発見



コオイムシ

ホタル観察会を開催

ゲンジボタルのほかヘイケボタルも観察できました

昨年の６月18日（土）午後７時から、恒例の「ホタルの観察会」を猿久保田んぼ公園周辺で開催し、約７０名の参加者が有りました。

定期的な保全管理の効果もあり、年々ホタルの数が増加しているようです。是非参加してみてはいかがでしょうか。

線路の周りを飛ぶホタルが見られ、珍しい写真が撮れるスポットにもなっています。

＊豊島区民との交流事業を開催「自然に触れよう！いなか川遊び」＊

ジオサイトを背景に記念撮影

川遊び

地物の炭で焼いた鮎

スイカ割り

平成17年から、那須烏山市民と豊島区民との都市農村交流事業を毎年行っており、昨年７月の開催で12回目になりました。この交流活動は那須烏山市から荒川南部土地改良区が業務を受託しており、毎年、役員・組合員の皆さんのご理解とご協力を得て実施しております。

昨年は、７月29日(土)と28日(日)に開催されました。

役員等の皆さんには朝早くから鮎の塩焼きやテント張りなどにご協力をいただきありがとうございました。参加者は、いなかでの、①川遊び、②スイカ割り、③化石探し、④カブトムシ捕り、⑤収穫体験、⑥座禅体験などで大変盛り上がっていました。　毎年開催していることで、栃木弁でのおもてなしや指導も板につき、良いコミュニケーションの場になりました。

【初企画】化石探し

座禅体験

トウモロコシ収穫体

カブトムシ採り

今年は初日、夕立に見舞われましたが、両日とも比較的涼しくなり、川遊び、化石探し、カブトムシ捕りなどが好評で、「大変いい思い出や経験になった。」などのアンケートが市に寄せられました。

ご参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

―日豊島区民の旅―

豊島区では、交流都市の那須烏山市民を対象に、文化によるまちの活性化事業として豊島区散策（水族館見学や演劇の鑑賞）などによる交流事業を実施しています。

是非参加してみませんか？

また来てください

初日は小塙駅で下車 ／ 帰りは大金駅から乗車

ー 猿久保田んぼ公園案内板を更新ー

各保全地区の案内板等が風雨により見にくくなったので、見やすい看板に取り替えました。

今後、１年～２年で案内板等の内容を変えていきますので、写真やアイデアがありましたら改良区までお寄せください。

職員紹介

平野育男事務局長（左：高瀬）平成28年9月～小峯みどりさん（中：矢板市）におかれましては、家庭の事情で３月31日をもって退職されました。平成15年4月からの15年間長い間大変お世話になりました。

後任は、石川英子（ひでこ/右/東原）さんとなります。前任同様よろしくお願いいたします。

猿久保田んぼ公園

猿久保田んぼ公園地内及び周辺地域は、生態系保全の観点から、多くの土側溝などが自然のまま残されています。

今後も景観・生態系保全のため、計画的な保全管理や観察会などを行っていきます。

猿久保溜池（29.11）

木道の維持管理作業（30.2）

木道に落ちた「オトシブミ」（29.6）

土地改良区からのお知らせ

当土地改良区のほ場整備事業は場整備事業と併せて担い手育成農地集積及び自然環境の保全に配慮し、総事業費18億9千万円で平成21年度に終了しました。また、ほ場整備事業に係る受益者負担分の借入金償還が平成29年度で終了したことで、平成30年度から特別賦課金（借入償還金分）はなくなりますが、経常賦課金は土地改良区を運営するため引き続き賦課されます。

土地改良区では、財産管理を適正に行うとともに、農作業を行うための環境を保持するため、土地改良区施設（揚水ポンプ施設やパイプライン、農道、用排水路、ため池等の共同施設）の長寿命化を図るための維持管理や老朽化による施設更新等を継続的に行っています。なお、維持管理・施設更新等に当たっては、組合員の負担軽減を図るため、専門家による施設点検（国庫負担）や、国・県・市等の補助金を可能な限り活用しています。